

2026年3月期 決算説明資料

千ム二一株式会社

2026年5月

目次

- I. 2026年3月期 業績概要
- II. 足元の取組みと2027年3月期の重点施策
- III. 2027年3月期 連結業績予想
- IV. Appendix

I . 2026年3月期 業績概要(連結)

●2026年3月期業績 連結損益計算書

単位(百万円)

項目	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比
売上高	20,155	25,725	26,219	26,365	0.6%
(グループ売上高)	(29,819)	(37,667)	(38,117)	(38,152)	0.1%
売上総利益	13,649	17,824	18,013	18,105	0.5%
販管費	15,316	16,523	17,089	17,614	3.1%
営業利益	△1,667	1,300	923	491	△46.8%
経常利益	△1,635	1,446	1,056	537	△49.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	△2,016	938	1,076	504	△53.1%
1株当たり当期純利益	△104.52	48.66	55.79	26.15	—
EBITDA	△673	2,316	1,911	1,419	—

※連結子会社：・株式会社紅フーズコーポレーション ・めっちゃ魚が好き株式会社 ・大田市場チムニー株式会社

2026年3月期 P/L 主要数値の内容

● 2026年3月期 実績の主な内容（増減は2025年3月期との比較）	
売上高	<ul style="list-style-type: none"> ・直営売上高 前期比 258百万円増加（1.2%増）の22,775百万円 ・食材供給売上高 35百万円、加盟店からの収入 34百万円減少
販管費	<ul style="list-style-type: none"> ・販管費全体で、524百万円増加（3.1%増）の17,614百万円 ・人件費、設備費（主として賃借料、消耗品費、減価償却費等）が増加
営業外収益	<ul style="list-style-type: none"> ・持分法による投資利益 86百万円減少
営業外費用	<ul style="list-style-type: none"> ・支払利息 11百万円増加の76百万円、持分法による投資損失 2百万円
特別利益	<ul style="list-style-type: none"> ・受取保険金 56百万円、受取補償金 71百万円
特別損失	<ul style="list-style-type: none"> ・減損損失 48百万円減少の203百万円 ・店舗閉鎖損失引当金繰入額 21百万円減少の12百万円
法人税等調整額	<ul style="list-style-type: none"> ・法人税等調整額 △133百万円計上 ・税金費用 345百万円増加

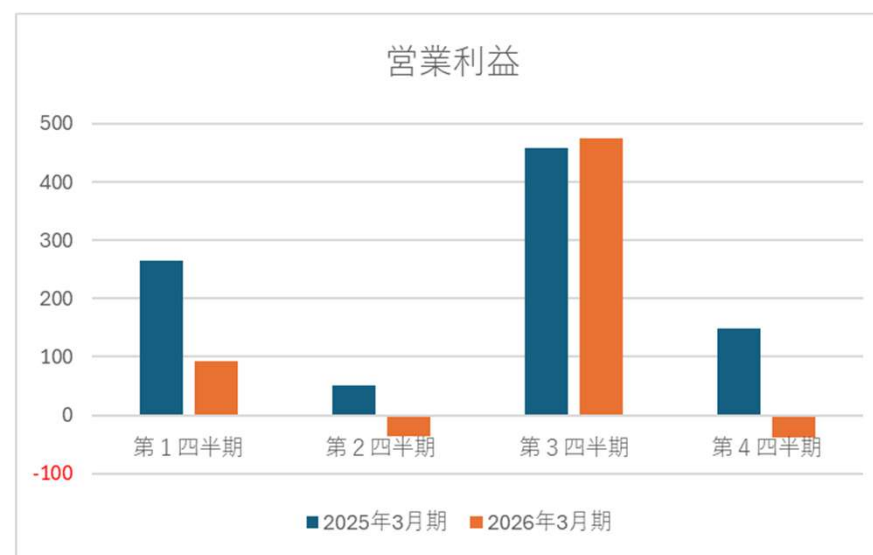
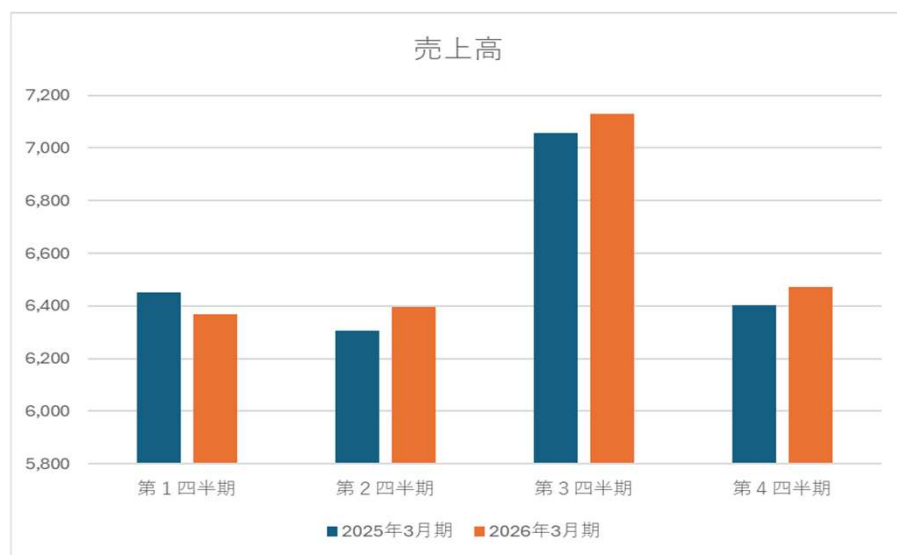
2026年3月期 P/L 主要数値の内容

●2026年3月期業績 連結損益計算書(四半期毎)

単位 (百万円)

項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
売上高	6,367	6,395	7,128	6,473	26,365
営業利益	92	△ 36	474	△ 38	491
経常利益	113	△ 26	480	△ 30	537
親会社株主に帰属する 四半期純利益	63	38	419	△ 16	504
1株当たり純利益	3.29	1.97	21.73	△ 0.84	26.15

◇上期は売上高 12,763百万円、営業利益 55百万円 ◇下期は売上高 13,602百万円、営業利益 435百万円



2026年3月期 直営店の動向

●直営店月次動向

2025年4月～9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計
既存店対前年比(%)売上	98.6	101.6	95.6	100.8	106.7	95.5	99.8
客数	95.4	97.9	92.3	95.2	101.1	92.4	95.8
客単価	103.3	103.7	103.6	105.9	105.6	103.3	104.2
全店対前年比(%)売上	98.2	101.7	96.5	101.5	107.1	95.2	100.1
客数	94.5	97.6	92.4	95.7	101.6	91.9	95.7
客単価	103.9	104.1	104.5	106.1	105.4	103.7	104.6
店舗数(店)	296	296	293	293	292	291	291

2025年10月～2026年3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期計
既存店対前年比(%)売上	99.6	99.4	101.7	100.4	95.0	97.6	99.5
客数	96.9	96.0	98.1	98.1	94.4	95.4	96.2
客単価	102.8	103.5	103.7	102.3	100.6	102.4	103.4
全店対前年比(%)売上	100.3	100.1	103.5	102.2	100.8	102.9	101.0
客数	96.7	96.1	99.6	100.5	100.3	102.0	97.5
客単価	103.7	104.1	103.9	101.7	100.5	100.9	103.6
店舗数(店)	291	292	292	291	292	292	292

- ◆ 第1Qは国内のお米問題・記録的な猛暑と「節約志向」が交錯し、ビール等の飲料需要が高まり客単価は103%と伸長するも、客数が減少傾向となった。
- ◆ 第2Qは、「ウナギ・ステーキ」を中心に「夏の元気祭りフェア」や、好評により2年連続で「鹿児島焼酎ハイボールフェアPart2」を開催し、売上・客数の回復要因となった。9月は厳しい残暑と物価高騰の影響が出た。
- ◆ 第3Qは、まぐろの王様、本マグロメニューと、出汁と具材と香辛料にこだわった5種類の鍋をご用意し「旨鍋フェア」を開催。忘年会のプレミアムプランが好評を得て、12月は既存店売上は100%超えとなった。
- ◆ 第4Qは、「肉に魚、旬のコラボまで。旨いもんフェア」を開催し、春の味覚を感じる食材をご提供。目玉商品として、骨付き鶏唐揚げ「チューリップ旨辛スパイス味」を、1本108円で、11万本限定で販売。大好評の中、完売となった。
- ◆ 年間を通して、15時までのフリー客数は継続的に伸長。課題となる、平日の15時以降のフリー集客に向けて、価値と価格の両面から、食事メニュー・販促企画等で集客につなげる。

※ 既存店は、開店月を除き13ヶ月を経過している店舗で、かつ規定休業日以外をすべて営業した店舗としております。

2026年3月期 出退店推移

●新規出店・閉店・転換状況

◆ グループ総店舗数は、460店舗

(単位:店)

	2025年 3月末	新店	退店	直営→ FC転換	FC→ 直営転換	2026年 3月末	増減
直営店	209	10	18	1	2	202	△ 7
コントラクト店	95	1	6			90	△ 5
全直営店計	304	11	24			292	△ 12
FC店	144	1	4			140	△ 4
チムニー社計	448	12	28			432	△ 16
(株)紅フーズコーポレーション	19	1	1			19	0
めっちゃ魚が好き(株)	8	1				9	1
連結子会社計	27	2	1			28	1
当社グループ店舗合計	475	14	29	1	2	460	△ 15

2026年3月期 連結財務状況

●2026年3月期 連結貸借対照表(B/S)

単位(百万円)

	2025年3月期	2026年3月期
資産合計	16,726	15,874
流動資産	8,228	7,096
現金及び預金	6,628	5,401
売掛金	596	656
FC債権	214	213
商品	312	287
貯蔵品	8	4
その他	665	667
貸倒引当金	△ 197	△ 134
固定資産	8,498	8,778
有形固定資産	1,515	2,050
建物及び建築物(純額)	1,258	1,673
その他	257	376
無形固定資産	2,259	1,884
のれん	2,229	1,765
その他	29	118
投資その他の資産	4,723	4,843
投資有価証券	541	572
繰延税金資産	948	1,063
差入保証金	3,205	3,174
その他	75	80
貸倒引当金	△ 49	△ 48

	2025年3月期	2026年3月期
負債純資産合計	16,726	15,874
負債合計	10,656	9,470
流動負債	6,232	6,355
買掛金	998	989
FC債務	232	199
短期借入金	3,100	2,300
1年内返済予定の長期借入金	310	1,310
店舗閉鎖損失引当金	22	9
資産除去債務	23	15
その他	1,543	1,531
固定負債	4,423	3,115
長期借入金	2,599	1,289
資産除去債務	752	743
その他	1,070	1,081
純資産合計	6,069	6,404
資本金	100	100
資本剰余金	4,197	4,197
利益剰余金	1,820	2,132
自己株式	△ 101	△ 101
その他の包括利益累計額	52	75
非支配株主持分	-	-

2026年3月期 連結財務状況

●2026年3月期 連結貸借対照表(B/S) 資産、負債及び純資産の状況

資産に関する主な要因	851百万円減少の15,874百万円
流動資産	1,131百万円減少の7,096百万円
主な減少要因	現金及び預金△1,226百万円
固定資産	280百万円増加の8,778百万円
主な増加要因	有形固定資産+534百万円、繰延税金資産+114百万円
主な減少要因	無形固定資産△374百万円
負債に関する主な要因	1,185百万円減少の9,470百万円
流動負債	123百万円増加の6,355百万円
主な増加要因	1年内返済予定の長期借入金+1,000百万円
主な減少要因	短期借入金△800百万円
固定負債	1,308百万円減少の3,115百万円
主な減少要因	長期借入金△1,310百万円
純資産に関する主な要因	334百万円増加の6,404百万円
主な増加要因	親会社株主に帰属する当期純利益504百万円
主な減少要因	配当金の支払192百万円

自己資本比率	40.3%
1株当たり純資産	331.93円

自己資本当期純利益率	8.1%
総資産経常利益率	3.3%

2026年3月期 連結キャッシュ・フローの状況

単位（百万円）

	2025年3月期末	2026年3月期末
営業活動によるキャッシュ・フロー	769	1,365
税金等調整前当期純利益	643	417
減価償却費・のれん償却額	789	805
減損損失	252	203
売上債権・FC債権の増減額	238	△ 58
仕入債務・FC債務の増減額	△ 765	△ 43
支払利息	△ 63	△ 77
その他合計	△ 326	117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 688	△ 1,286
固定資産の取得・売却・除却による支出入	△ 736	△ 1,269
差入保証金・預り保証金の支出入	68	3
その他合計	△ 20	△ 21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,305	△ 1,305
借入及び借入の返済	△ 1,101	△ 1,110
配当金の支払	△ 192	△ 192
その他合計	△ 11	△ 2
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,224	△ 1,226
現金及び現金同等物の期首残高	7,852	6,628
現金及び現金同等物の期末残高	6,628	5,401

2026年3月期 連結キャッシュ・フローに関するポイント

● キャッシュフローに関するポイント	
営業活動による キャッシュ・フロー	1,365百万円増加
	・税金等調整前当期純利益417百万円
	・減価償却費341百万円
	・減損損失203百万円
	・のれん償却額463百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	1,286百万円減少
	・固定資産の取得による支出1,210百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	1,305百万円減少
	・短期借入金の減少800百万円
	・長期借入金の返済による支出310百万円
	・配当金の支払額192百万円

配当

●配当について

- ◆ 当社は株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、収益力を強化し将来の事業展開と財務基盤強化のための内部留保を確保するとともに、安定的な配当を行うことを基本方針としております。
- ◆ 2026年3月期におきましては、業績動向等を総合的に勘案した結果、期末配当金5円00銭といたしました。これにより、年間配当金は10円00銭となります。
- ◆ 2027年3月期の年間配当金は、1株当たり5円00銭(中間配当2円00銭、期末配当3円00銭)を予定しております。

株主還元 株主優待の電子化(デジタルクーポン)

●2026年3月末株主様への優待より、デジタルクーポンが変わります

【1円単位でもご利用いただける金額入力】

【1URL 3,000円相当または、15,000円相当】

- ◆ 株主様より頂戴いたしましたご意見をもとに、お食事券(デジタルクーポン)の仕様を変更し、利便性を向上いたしました。贈呈基準や優待内容に変更はございません。



(左)チムニーオリジナル「角力カレー」(優待の内容はカレーのみです。ご飯等は含みません)

(中央)厳選ステーキ

(右)デジタルクーポン

※写真はイメージです



ご案内の発送予定日

2026年6月24日発送予定





チムニーグループ 15,000円券

【有効期限】2026年11月30日まで

チムニーグループ 15,000円券

有効期限：2026年11月30日

ご利用金額 円

残り15,000円

半角数値で入力してください。

利用金額を確定する

カメラを起動する

ステータスを更新

	100株以上500株未満保有の株主様	500株以上保有の株主様	申込期限	デジタルクーポンの使用期限
証券の場合	お食事券3,000円相当	お食事券15,000円相当	2026年 10月 31日	2026年 11月 30日
商品の場合	チムニーオリジナル「角力カレー」4パック	①チムニーグループ厳選ステーキセット(1セット) ②チムニーオリジナル「角力カレー」20パック		

Ⅱ. 足元の取組みと2027年3月期の重点施策

【変える勇氣、変わる覚悟。全員で創る地域一番店】

- 企業理念「世界中のお客様から、ありがとうをいただく」ために、QSCAの更なる向上を全社で実行する
- 持続的成長に向け、DXを活用し、人ならではの接客により、安全安心と楽しさを提供し、お客様を元気にする
- 環境と社会への貢献、従業員が心身共に安心して働ける環境作りから、働き甲斐のある企業を目指す

<p>第1の柱 : 店舗収益向上戦略</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 価値戦略と価格戦略の両輪で、売上・客数をアップさせる (2) ご来店につなげる、全社的なフェア・イベントの展開による既存店のブラッシュアップ (3) DX活用による業務・シフトの効率化で、QSCA向上と接近接客で地域一番店を勝ち取る (4) インバウンド・宴会・修学旅行等団体客のご要望に寄り添った取組み (5) 6次産業化の深耕と豊洲市場買参権の活用による、トータルコストの圧縮
<p>第2の柱 : 専門業態の拡大 新規出店・業態転換</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 圧倒的な「鮮度とボリューム」にこだわる、成長ドライバー『さかな酒場 魚星』業態の拡大 (2) 食事を中心とし、お酒も楽しめるお店の推進（もんじゃ焼き・66ダイニング・軍鶏農場・ラーメン） (3) 「選別志向」を満足させる、高付加価値業態『北海道 知夢仁』『火入れ みつ囲』の展開 (4) 店外需要のテイクアウト・デリバリー向け商品・メニュー開発の加速化
<p>第3の柱 : 多様な人財の活躍</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 外国籍社員・キャリア社員の採用と入社後の研修制度の充実 (2) 女性管理職育成に向けた、個別面談と目標設定 (3) 階層別教育の充実とフィードバック面談の強化 (4) 男女の育児休暇取得100%の継続

第1の柱： 店舗収益向上戦略

1, 価値戦略と価格戦略を全社的なフェア・イベントで展開

- 「行ってみたい・また来たくなる、魅力ある価値と価格」を年間を通したフェア・イベントに盛り込み、既存店のブラッシュアップを図る。

2, DX活用による予約獲得の効率化と売上・客数増

- 宴会、席予約を可視化し、当日予約を含め、顧客と店舗が効率的にマッチング。シフト作成・準備までを計画的に進め、接近接客で顧客満足度アップへ。

3, 宴会特典、加熱式たばこ専用客席の拡大

- ご好評の宴会特典は、昨年を上回る実績（焼酎ボトル8千本）で、ご宴会に合ったご利用となる。全ての顧客に、心地よくご利用いただくため、分煙対策として、加熱式たばこ専用客席を拡大中。

4, 6次産業化の深耕「育てる漁業」の拡大

- 完全陸上養殖サーモンを拡販しています。安定した供給網を確立し、使用量は前年比の200%。美味しさの評判も高く、各業態の人気メニューとなりました。



席予約の可視化



第2の柱： 専門業態の拡大《新規出店・業態転換》

1, 成長ドライバー 魚星業態。3年で36店舗

◆豊洲市場買参権と自社物流を最大限に活用し、コストの圧縮と原価への還元により、他店に真似できない鮮度とボリュームを実現。2月5日には、魚星業態、最大の194席となる「海老名東口店」が、小田急線・海老名駅の目の前、2階に開店しました。2026年度の1店舗目は、魚星業態37店舗目となり、4月3日、JR京葉線潮見駅高架下に「潮見駅前店」が開店しました。



魚星 海老名東口店



山盛り！市場鮮魚丼



魚星の宴会コース

2, お食事プラスお酒を楽しむお店

◆もんじゃ焼き・もんじは5店舗目を青葉台東急スクエアSouth-2の6階に開店。3種類の出汁とトッピングで、「MYもんじゃ」を楽しめます。

◆66ダイニングは6店舗目を、新浦安駅前のMONAビル4階に開店。落ち着いた店内で、「昔懐かしい洋食」、オムライス・ハンバーグ・ケーキ・カフェをお楽しみいただけます。



魚星 潮見駅前店頭



魚星 刺身盛り合わせ



(左) もんじ 青葉台東急スクエア店



(中央) もんじのメニュー



(右) 66ダイニング MONA新浦安店

第2の柱： 専門業態の拡大《新規出店・業態転換》

3, 高付加価値を提供する業態 「北海道 知夢仁 銀座店」「火入れ みつ囲 新宿西口パレット店」

◆2024年3月に開店した「北海道 知夢仁 銀座店」は、2025年11月に「蟹」をメイン食材とし、北海道の味・料理法・コスパにこだわる店舗に生まれ変わりました。ビジネス客・訪日外国人客から支持を得て、売上昨対200%超えを継続中。



北海道知夢仁 銀座店店頭



人気のコース料理



蟹の食べ放題

◆2024年6月に開店した、「火入れ みつ囲 新宿西口パレット店」は36坪・52席と中型の店舗ですが、調理場を囲むカウンター席と、「火」を使った調理が見えるライブ感で、和食を追求した店舗です。売上も昨対110%で推移中。今後、駅ビルや商業施設のレストランフロアなどに、中型規模の店舗として出店を計画中。



(左) みつ囲新宿西口パレット店内



(中央) ライブ調理



(右) 名物の原始焼き各種

4, テイクアウト・デリバリー

◆テイクアウト専門店、「からあげ千ちゃん」



「塩ダレ部門」
「東日本しょゆダレ部門」
で2部門共に、3回目の金賞受賞

第3の柱： 多様な人財の活躍

採用と共育の強化 ～団結力の強化～働き甲斐のある職場環境作りへ

- ◆外国籍人財の積極的採用を継続中で、目標社員比率 20% 現 15.3%
 - ・国籍別の順位 1位:ミャンマー、 2位:ベトナム、 3位:スリランカ、 4位:中国、 5位:ネパール
 - ・2026年4月には、15名の新入社員が入社しました。その内、10名が外国籍社員です。



入社式

◆全国親睦会開催

昨年の年末売上目標を達成した店舗スタッフの表彰式と一致団結を目的とした親睦会を全国5拠点を開催。その中で、惜しくもTOP10には入賞しなかったが、日々の業務において「地域一番店」にふさわしい行動を愚直に実行し、成長が期待されるスタッフを『NEXT HERO賞』として表彰しました。「次世代の芽」を大切に育て、強固な土台を構築しています。



全国親睦会の表彰者を皆で祝福

◆ライフワークバランス

健康経営優良法人【大規模法人部門】
5年連続認定。「育児休暇の取得」は男女ともに、100%を3年連続達成



私たちが絶対に遵守しなければならない事

◆お酒を扱う企業として

飲酒運転撲滅、安全安心宣言継続中

- ・自転車を含めた飲酒運転撲滅にむけ、年齢確認強化中。
- ・ノンアルコール飲料には「マドラー」をつけて、誤提供を防止。



財務状況

財務状況および指標の改善強化

- ◆ 2026年3月期において、短期借入金 8億円、長期借入金 3.1億円を返済
- ◆ 今後も有利子負債の削減と、長短比率の見直しにより、財務基盤の強化を進める

借入状況	借入金額(百万円)
短期借入金	2,300
長期借入金（劣後ローン含む）	2,599

- ◆ 各指標において業績回復と並行して改善を目指す

自己資本比率	自己資本当期純利益率	売上高営業利益率	総資産経常利益率
40.3%	8.1%	1.9%	3.3%

1株当たり純資産	PBR(2025年3月末)	キャッシュフロー 対有利子負債率	インタレスト・カバレッジ・ レシオ
331.93円	3.61倍	3.6	17.5倍

※ キャッシュフローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

Ⅲ. 2027年3月期 連結業績予想

●2027年3月期の業績予想

単位(百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	2027年3月期 (予想)
売上高	26,219	26,365	28,000
(グループ売上高)	(38,117)	(38,152)	(39,463)
営業利益	923	491	500
経常利益	1,056	537	550
親会社株主に帰属する純利益	1,076	504	250
1株当たり当期純利益(円)	55.79	26.15	12.95

【業績時系列】

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高	13,229	10,108	20,155	25,725
営業利益	△ 6,100	△ 4,582	△ 1,667	1,300
経常利益	△ 4,553	3,252	△ 1,635	1,446
親会社株主に帰属する純利益	△ 9,004	1,227	△ 2,016	938

※ グループ売上高 = チムニー連結売上高 + FC店舗売上高

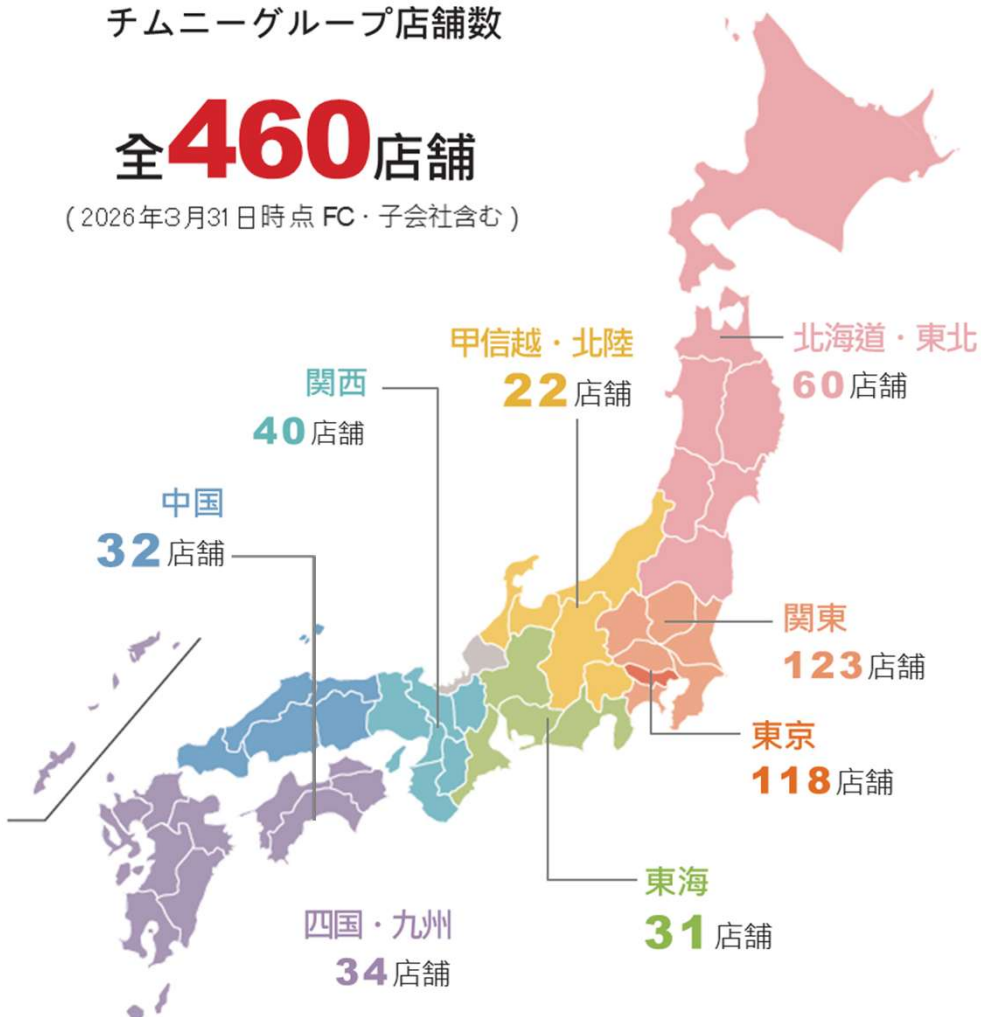
IV. Appendix

2026年3月期 業態別店舗数の推移

チムニーグループ店舗数

全**460**店舗

(2026年3月31日時点 FC・子会社含む)



	直営店	FC店	計
はなの舞	36店	52店	88店
さかなや道場 (魚鮮水産含む)	68店	27店	95店
軍鶏農場・豊丸水産	11店	0店	11店
魚星(九州人情酒場含む)	34店	2店	36店
こだわりやま・やきとり道場	—	13店	13店
66ダイニング・66カフェ等	6店	—	6店
安ペ彥	22店	1店	23店
焼肉牛星	7店	3店	10店
その他 (はなの屋・升屋・チムニー等)	16店	28店	44店
ハイブリッド	2店	14店	16店
コントラクト	90店	—	90店
小計	292店舗	140店舗	432店舗
子会社店舗	28店舗	—	28店舗
合計	320 店舗	140 店舗	460 店舗

FCオーナーとの共存共栄

★FCオーナーの新店のご紹介

ルートインジャパン株式会社 代表取締役 永山 泰樹様
 海鮮ダイニング 九州美蔵・焼肉華蔵 ホテルルートイン大牟田店
 (2025年12月26日開店) 同日に開店した客室数328室のホテルの敷地内、別棟に海鮮ダイニングと焼肉の2業態を運営。ホテル宿泊客だけでなく、地域住民からの支持を得ています。



大牟田店の店舗の全景



2業態の店頭

★オーナー様交代のご紹介

有限会社総和商事 代表取締役 鹿嶋 ひで子様
 (2025年4月1日転換) 「チムニー 東京ビックサイト前店」
 東京ビックサイト正門から徒歩1分。



チムニー 東京ビックサイト前店



升屋 品川店

株式会社ドンキー 代表取締役 倉本 哲徳様

(2025年10月1日転換) 「升屋 品川店」
 ドンキー社、13店舗目は、品川駅・徒歩3分の立地です。

合同会社つなぐ CEO 岩館 司様

(2026年2月1日転換) 「はなの舞 JR成田西口店」
 岩館オーナー、1店舗目の店舗は、JR成田駅西口・徒歩1分。2階。



はなの舞 JR成田西口店



さかなや道場 長浜店

★オーナー様の挑戦

株式会社エムジェイ 代表取締役 川北 利幸様

(2025年4月1日業態転換) 「三代目網元 さかなや道場 長浜店」
 長浜にて、2店舗を運営されています。1店舗を業態転換されました。

SDGsの取り組み（マテリアリティの振返りと今後）



テーマ	マテリアリティ	主な取り組み	2025年度自己評価と進捗状況	今後の取り組み
E：環境	CO2排出削減	①廃油の再活用による燃料処理の廃止 ②保冷BOX導入でドライアイス使用量50%削減 ③石灰由来の環境配慮型ごみ袋使用	◎ 年間500トンのCO ₂ 排出削減達成 廃油の販売による収益化	①ゴミの分別と圧縮 ②機器・設備等のメンテナンス推奨 ③ジェット燃料・SAF燃料化推進
	海洋汚染抑制 海の再生	陸上完全養殖サーモンの活用拡大	◎ 4種のサーモン導入・使用量3倍	継続実施・サーモン以外の食材探索 「育てる漁業」による6次産業化の深耕
	食品ロス	規格買い野菜の活用	○ 刺身つま用大根・月間使用量 5,000KG	各地のエリアで個別・少量からの対応検討
S：社会	健康貢献・ 酒類提供の責任	飲酒運転撲滅& 20歳未満へのお酒提供禁止 適正飲酒のすすめ	◎ 店舗の全スタッフへの浸透と実践 お客様への告知活動継続	①年齢確認強化 ②自転車でのご来店客への啓蒙 ③低アル・ノンアル商品の拡販
	多様な人財の活躍	外国籍人財の現地採用・教育の強化 中途採用強化	○ 外国籍社員比率20%目標（現 15.3%） キャリア・地域限定社員の採用	入社後、生活・仕事・語学のフォロー強化 メンター制度・面談強化
	働きがいの追求	リフレッシュ連続休暇の取得推進 育児休暇取得100%	○ 5日間の連続休暇取得率 90% 育児休暇取得 男女共に100% 2026年 健康経営優良法人認定	ライフワークバランスを主軸とした面談実施
	障害者との共生	障害者雇用の推進 店舗のバリアフリー化推進	◎ 障害者雇用率 2.8% 東京都、心のバリアフリーサポート企業に登録	集合研修の実施
G：ガバナンス	災害リスクのヘッジ	災害対応（自然災害時の安否確認） 緊急時の対応確認	○ 防災対応マニュアルの更新 ハザードマップ作成・共有	BCPの策定検討
	企業統治の強化	コーポレートガバナンスの更新	○ 随時更新中。 女性管理職比率 10.5%	女性管理職の積極的登用 各種法律・制度に準拠した管理遂行
		データセキュリティの強化	○ 既存管理体制の棚卸から進行中	プライバシーデータ保護の観点強化 サイバー攻撃対策推進

注意事項

本資料は、当社公表の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、現時点での入手可能な情報を元に当社が判断した、計画・見通し・戦略など、将来の業績に関する見通しにはリスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、さまざまな要因により、見通しと大きく異なる結果となり得ることをあらかじめご了承ください。

掲載内容には細心の注意を払っておりますが、当社および情報提供元は、情報の完全性、正確性、確実性、有用性、その他の保証を行うものではありません。掲載された情報の誤りによって生じた損害等に関して、当社は事由の如何を問わず一切責任を負いません。

なお、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。実際の投資の際は、当情報に全面的に依拠することなく、皆様ご自身のご判断でお願い申し上げます。

◆ <<IRに関するお問い合わせ先>>

チムニー(株) IR・サステナビリティ推進担当

ir-service@chimney.co.jp